

<p>① プレハブ仮設・みなし仮設・在宅の現在の支援状況</p>	<p>《プレハブ仮設》 1 サロン等交流の場の提供活動 スマイルサロンの実施（東・西集会所 月 各2回）、子供の遊び場、縁側クラブへの協力支援、その他イベント等の協力支援等 2 情報提供活動 スマイルカレンダー、行政等の情報等毎月ポスティング 《みなし仮設》 1 訪問等による見守り・相談支援活動 定期訪問（訪問頻度区分による全戸訪問）により見守り・相談支援、相談コーナーの設置、電話相談対応等により相談支援 2 サロン等交流の場の提供活動 まじゃっぺ岩沼、うつくしまサロン、編物サロン 各毎月1回実施、その他イベント等の協力支援等 3 情報提供活動 スマイルロード、行政等の情報等 毎月郵送 《在宅》浸水地域 1 コミュニティ再生支援活動 町内会行事等の協力支援 2 サロン等交流の場の提供活動 サロン活動への協力支援</p>
<p>コミュニティ形成における課題は？</p>	<p>《プレハブ仮設》 防災集団移転等が本格化してきており、これまでお世話役だった方々も移転するなど、孤立感や取り残され感が強まる傾向にあり、なお一層の見守り支援が必要である。 入居者減少・高齢化率上昇 《みなし仮設》 世帯の状況に応じた地域との繋がりづくりや自主組織化の支援、また孤立防止等引き続きサロン等の支援も進める必要がある。 《在宅 浸水地域》町内会活動等が継続的に行われるよう支援を進める。</p>
<p>② 災害公営住宅・地域の現在の支援状況（自治会等への支援も含む）</p>	<p>1 訪問調査による見守り相談支援活動（サポートセンターと同行） 2 玉浦西まちづくり協議会へ参加し、今後のまちづくりを支援 3 担当民生委員との情報交換会議（状況把握・支援者の発掘等）</p>
<p>コミュニティ形成における課題は？</p>	<p>玉浦西地区各町内会の人口減少や今後災害公営住宅入居者の移転等でさらに高齢化率の上昇が予測されており、そうした課題を抱えての今後のコミュニティ形成における人材確保と住民主体の活動どう支援するかが課題。</p>
<p>③ 現在の主な支援内容</p>	<p>1 訪問等による見守り・相談支援活動 2 サロン等交流の場の提供活動</p>
<p>④ 今後の支援予定 ・次年度 ・課題</p>	<p>1 サロン等交流の場の提供活動 防災集団移転先、仮設・みなし仮設等 2 訪問等による見守り・相談支援活動 防災集団移転先 3 コミュニティ再生・形成支援活動 《課題》 住民を主体として関係機関・団体等が連携し、協働による地域社会づくりを推進する。また、見通しの立たない世帯への支援が必要。</p>

今まで・これからの協力関係について（社協 ⇄ NPO）※希望・期待も含め  
人口減少、少子・高齢社会が進行する中、地域をより良いものとするためには、地域住民をはじめ関係機関・団体、NPO等様々な団体が有機的に連携し、協働で支援活動を推進することが必要不可欠である。

団体名： 社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会

情報報告共有シート（社協）

地域： 岩沼市

地域概要（仮設住宅の入居状況、災害公営住宅の進捗 e t c）

◆プレハブ仮設住宅入居状況

	東	西	南	全体
当初	162戸	162戸	60戸	384戸
現在	85戸	108戸	51戸	244戸
	52.5%	66.7%	85.0%	63.5%
退去	77戸	54戸	9戸	140戸
	47.5%	33.3%	15.0%	36.5%

- ・集会所：2か所 東集会所、西集会所
- ・談話室：1か所 南談話室

◆みなし仮設住宅入居状況

当初	826戸
現在	296戸
	35.8%
退去	530戸
	64.2%

自主避難支援世帯 9世帯

◆防災集団移転事業による入居状況

○戸建

	予定	入居済	未入居
玉浦西地区	158戸	97戸	61戸
三軒茶屋地区	13戸	12戸	1戸
計	171戸	109戸	62戸
		63.7%	36.3%

○災害公営住宅 210戸

戸建 7戸 戸建（二戸一棟）108戸 長屋 95戸

- ・第一期入居 2月16日～
- ・第2期入居 3月2日～
- ・第3期入居 5月上旬～